

(様式1) 新規評価総括表

事業種類		治山・砂防		事業名		山地治山		林務部 森林づくり推進課										
番号	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	全体事業費 (千円)	H28年度 事業費 (千円)	完了 予定 年度	箇所評価						部意見	行政改革課意見	現地 調査	申請	採択	備考
							必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	総合評価						
1	上田市	しもしおじり 下塩尻	落石防護柵工132m 落石予防工5,400㎡	270,000	71,200	H31	B	A	A	A	B	A	調査の結果、不安定な転石や 岩石群が判明したため、対策 工事を行う必要がある	落石の発生を受けて実施した 現地調査により不安定な転石 や岩石群が判明しており、重 要性が高く、緊急性も認めら れる。	○	○	○	
2	東御市	にらかわ 龍川	落石防護柵工60m 落石予防工252㎡ 森林整備6.0ha	85,400	76,500	H29	B	A	A	A	B	B	調査の結果、不安定な岩石群 や荒廃森林が判明したため、 対策工事を行う必要がある	落石の発生を受けて実施した 現地調査により不安定な岩石 群や荒廃森林が判明しており、 重要性、緊急性が認められ る。		○	○	
3	諏訪市	おおくほ 大久保	流路工93m 森林整備5.5ha	29,000	10,000	H29	A	B	A	A	B	A	森林の荒廃が著しく、放置す れば、土砂流出や流木により被 害者が発生する恐れがあり、 対策工を行う必要がある	流域内は森林荒廃が進行し倒 木が多数存在している。保全 対象には人家、高校の施設等 があることから、必要性、緊急 性が認められる。	○	○	○	
4	茅野市	ちかべ 高部	斜面補強土工800㎡	66,000	32,000	H29	B	A	A	A	A	A	斜面頭部で変状があり、放置 すれば拡大する恐れが高い。 直下に保全対象があることか ら対策工を行う必要がある	斜面冠頭部が段差が発生し、 不安定な状態となっている。保 全対象には事業所、県道、市 道があることから、緊急性が認 められる。	○	○	○	
5	飯島町	たけ 竹の沢	谷止工7個 護岸工82m 森林整備5.0ha	65,000	25,000	H30	B	B	B	A	B	B	渓岸の浸食が進んでおり、対 策を行う必要がある	渓岸浸食が進み斜面が不安 定な状況となっている。保全対 象には人家、高速道路、町道 があることから、緊急性が認め られる。		○	○	
6	南木曾町	よねやま 米山沢	谷止工3個	47,100	28,100	H29	A	A	A	A	A	A	平成26年7月に土砂が流出し、 渓流内に不安定土砂として留 まっている。放置すれば降雨 時に下流保全対象へ流下する 恐れがあることから対策工を 行う必要がある	渓岸浸食が進み不安定土砂 が堆積している。保全対象に は人家、町道等があることか ら、重要性が高く、必要性、緊 急性も認められる。		○	○	
7	木祖村	やぶはら 藪原	土留工9個 実播工2,400㎡	211,000	78,000	H30	A	A	A	A	B	A	上流に崩壊地があり、放置す れば下流保全対策が被災する 恐れがあることから、対策工を 行う必要がある	上流域の山腹崩壊が拡大し不 安定土砂が下流へ流出してい る。保全対象には人家、国道 19号、JR中央線等があること から、重要性、重要性、緊急性 が認められる。		○	○	
8	安曇野市	ちたいら 栃平	落石予防工 3600㎡	180,000	60,000	H30	B	A	B	A	B	B	平成27年3月に落石が発生し、 調査の結果不安定な転石群が 判明したため、他事業と連携し て対策工を行う必要がある	斜面には不安定な岩石群が存 在している。保全対象には林 道、発電用取水施設があるこ とから、重要性、緊急性が認め られる。		○	○	
9	筑北村	しろうさ 菅蒲沢	谷止工3個	100,000	31,000	H30	B	A	A	A	A	A	平成27年3月に溪流が斜面か らの崩落土砂で閉塞した。応 急対策は行ったものの、放置 すれば下流へ土砂流出する恐 れが高く、対策工を行う必要が ある	上流域の山腹崩壊斜面には不 安定土砂が多量に堆積してい る。保全対象には人家、村道 があることから、重要性、緊急 性が認められる。	○	○	○	

(様式1) 新規評価総括表

事業種類		治山・砂防		事業名		山地治山		林務部 森林づくり推進課										
番号	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	全体事業費 (千円)	H28年度 事業費 (千円)	完了 予定 年度	箇所評価						部意見	行政改革課意見	現地 調査	申請	採択	備考
							必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	総合評価						
10	大町市	へび 辺尾	落石予防工 345㎡ 落石緩衝柵工 128m	183,000	36,000	H31	C	A	B	A	B	B	調査の結果、不安定な転石や岩石群が判明したため、対策工事を行う必要がある	落石の発生を受けて実施した現地調査により不安定な転石や岩石群が判明しており、重要性が高く、緊急性も認められる。		○	○	
11	白馬村	たき 瀧ノ沢	法枠工2,550㎡	118,800	62,400	H29	B	A	B	B	C	B	平成27年1月に崩壊し、土砂が鉄道まで流下した。放置すれば山腹が拡大し、再被災の恐れが高いことから、対策工を行う必要がある。	融雪、豪雨等による山腹崩壊での土砂流出が懸念され、重要性が認められる。		○	○	
12	長野市	なかお 中尾	谷止工1個 法枠工2,000㎡	100,000	4,000	H30	B	A	B	A	B	B	平成27年2月に市道下部の山腹が崩壊した。放置すれば崩壊地が拡大し、市道へ影響を及ぼすおそれがあるため、対策工を行う必要がある	山腹崩壊により市道路肩も崩落している。保全対象には人家、市道、公民館等があることから、重要性が高く、緊急性も認められる。	○	○	○	
13	長野市	かぞお 花園	谷止工3個 土留工1個 実播工 2,250㎡ 森林整備3.50ha	135,000	42,000	H30	C	A	B	A	B	A	平成27年3月に集落上流部の山腹が崩壊した。放置すれば土砂が流下し、人家等へ影響を及ぼすおそれがあるため、対策工を行う必要がある	流域内には不安定土砂が大量に堆積している。保全対象には人家、県道等があることから、重要性が高く、緊急性も認められる。		○	○	
14	坂城町	くろみきわ 胡桃沢	落石予防工 1,590㎡	74,300	50,000	H29	B	A	A	A	B	A	平成27年6月に落石が発生し、下方道路が被災した。調査の結果、不安定な転石や岩石群が判明したため、対策工を行う必要がある	斜面には風化が進んだ岩盤が露出し、不安定な浮石が存在している。保全対象には県道、工場2棟があることから、重要性が高く、緊急性も認められる。	○	○	○	
合 計			14箇所	1,664,600	606,200													

* 県単独事業の場合は申請の欄を削除して使用する。